

令和4年1月13日、河芸町上野地区にある、木村工機株式会社河芸製作所で「認知症サポーター養成講座」が開催されました！

木村工機株式会社 河芸製作所

認知症サポーター養成講座

※「ESG」とは、環境(E:Environment)社会(S:Social)・ガバナンス(G:Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉で、企業が長期的に成長を持続させるために「ESG」の3つの観点が必要だという考え方が広がっています。



ESG活動の取り組みについて、津市社協河芸支部に相談いただいたことから「認知症サポーター養成講座」の提案につながりました。😊

認知症は、年をとればいつ誰がなってもおかしくない身近な病気だと改めて思いました。ESG活動の取り組みのひとつとして「認知症サポーター養成講座」を開催し、社員にはまず、自分事として関心を持って頂き、将来的には地域の認知症の方に貢献できるかと思いお願いしました。



総務部 総務課
課長：舟田さん



受講されたみなさん



当日は、社員12名のみなさまが受講されました。😊 (受講の様子)



講師：津北部東地域包括支援センター職員

河芸町の高齢化率は、27.4%です。上野地区では、30.2%と10人に3人が高齢者となっています。河芸町でも認知症の高齢者が道に迷ってしまわれるなどがあります。

認知症サポーターとは

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人。認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症の人やその家族の「応援者」です。

第2層コーディネーターの思い

認知症への理解を自分事としてとらえていただいたら、その思いをちょっとだけ外（地域）に向けてください。少しでも地域の出来事に関心をもっていただけたら、そこから大きな力につながります。😊これからも積極的に認知症サポーターを地域に広めていきます！

生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは地域のみなさんとともに地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

Vol. 25 令和4年
3月30日



認知症を応援する目印として「オレンジリング」が渡されました。🍊

🌸 認知症の人への対応の心得 🌸 “3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない
さりげなく自然に接する、
それが一番の支援です。

